

ケアに手厚い、命と暮らしを大切にする都政に

医療に十分なゆとり(備え)の重要性は、コロナ禍によって明らかになりました。都立病院である多摩北部医療センターが公社病院になったら、採算が合わない医療部門が縮小されしまう危険があります。



小池都知事が進める医療ツーリズム(海外からの旅行者を呼び込み高額医療によって稼ぐ東京を目指す事業)ではなく、地域で安心できる医療体制をつくることは都民の願いであり都の大事な仕事です。

大手企業だけが稼ぐ開発よりも都民の福祉・暮らし ～まともな自治体を取り戻す～

いくら儲かるからと言って、航空機が低空飛行する羽田新ルート、空洞・陥没が発生している東京外郭環状道路建設を何の反省もなく進めていいのでしょうか。学生やひとり親世帯支援、給食費助成、補聴器購入費助成や都営住宅新築・家賃補助を求める条例等様々な市民目線で提案してきた日本共産党東京都議団。高齢者福祉の立ち遅れの打開、子育て支援や「子どもの貧困」をなくす取り組み、働く人の給料の引き上げを実現し、まともな東京を取り戻しましょう。



個人の尊厳と多様性を重視し、ジェンダー平等を進める都政と都議会に

ツーブロック禁止や「地毛証明」など、理不尽な学校校則について、おかしいと声をあげた高校生。高校の実態を共産党都議団が議会で質問し、校則を見直す学校が出てきました。都立高全日制の約4割で「地毛証明書」の提出が求められているとの共産党都議団の調査は、マスコミでも大きく取り上げられています。

共産党都議団が集めた痴漢被害アンケートの切実な声を聞く取り組みは、多くの女性が経験してきた痴漢被害の実態を社会に示し、撲滅に向けて踏み出すきっかけとなりました。

都政・国政・市政はつながっています。オリンピックにまい進し、PCR検査

の数を増やそうとしない自民党・公明党、都民ファーストの政治姿勢は、

国・都・市でも変わりません。



新しい政権を誕生させるために力を尽くします。

生活保護は国民の権利

扶養照会は義務ではありません。

「家族に知られたくないから」と生活保護利用のハードルとなってきた扶養照会。ひとりで相談に行くのが不安な方、窓口に相談に行ったのに申請できなかった方はどうぞご連絡下さい。

ご自宅にポスターを貼って頂ける方 募集中です

しんぶん赤旗(月額3497円) しんぶん赤旗日曜版(月額930円)市民の声でつくるメディア。ぜひ購読ください。

浅見みどりの活動を紹介します。

四国のオンライン演説会では、立憲民主党 小川淳也衆議院議員がコメントを寄せてくれました。東京のゲストに期待が高まります。

四国オンライン演説会

4/21 (水)
午後6時半より

志位和夫 委員長がお話します

日本共産党演説会

総選挙・都議選の予定候補を全員紹介

主催 日本共産党東京都委員会 ☎ 03-5972-1621

YouTube 配信します。東京オンライン演説会で検索するか、こちらのQRコードからご覧ください。

